

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	292700028		
法人名	社会福祉法人水鏡会		
事業所名	グループホームひだまりの里		
所在地 (電話番号)	〒039-0814 青森県三戸郡南部町塚渡字館2番地7 (電話) 0178-84-4774		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 12月 8日	評価確定日	平成 20年 1月 18日

【情報提供票より】(平成 19年 11月 6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 19年 6月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	20 人	常勤 16人, 非常勤 4人, 常勤換算	9.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 ~ 27,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬季4,800 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900円		

(4) 利用者の概要(11月 6日現在)

利用者人数	27 名	男性 8 名	女性 19 名
要介護1	7 名	要介護2	6 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	4 名	要支援2	1 名
年齢 平均	81 歳	最低	60 歳
		最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人きむらクリニック
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「ひだまりの里」は馬淵川近くの高台にあり、防災上少し問題を含んでいるが鳥のさえずりが聞こえる閑静な場所にある。ホームは介護保険実施前に介護施設であった所を改造し3ユニットのグループホームとして早期に開設している。前施設で使用した24時間対応の大きな浴槽があり、介護度の高い利用者にも対応が可能である。犬、猫、鯉を飼育しておりアニマルセラピーとしての効果もあり、各ユニットごとに独自性と連携を保ち、努力している点を感じられる。夜勤が各ユニット1名、合計3名での勤務は心強い。その中で「ひだまり」を求めながら過ごそうとする入居者や、家族、地域住民の憩いの場となるように管理者、職員が前向きに取り組む姿勢が見られる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で個々の記録は良くなされているが医療重視の記録に偏っていたということであったが現在は「生活がわかる」記録に改善されている。又窓の位置が低い事による危険やプライバシーの問題が指摘されたが、当事業所は逆に防災上、必要であると考えている。更に要望や苦情等については面談や意見書等で積極的に取り組み、サービス向上に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は管理者主体の評価が多く、職員の理解度は浅いように思われる。自己評価は全職員の理解の下で、出来ている点や改善点を共通理解してサービスの向上につなげてほしい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は組織され、定期的に開催されている。討議内容は利用者の状況、サービス提供の状況、サービスの評価、サービスへの要望や助言などがあり、情報交換等が行われ役立っている。今年から町内会に入会の手続きがとられているので、是非町内会長も参加できるシステムづくりも望まれる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>会計報告は定期的に家族等に報告されている。生活面等については面談時の報告、遠方の方には電話でなされているが書面での報告も必要と思われる。2~3ヶ月に1回の「たより」を発行する予定の意向もあるので、取り組みに期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に入会の手続きがとられており、また、日々の散歩や清掃活動などを通して地域の人々との交流がうかがえる。地域住民の認知症に対する理解度は十分でないようだが、回覧板や町の祭り時等で「ひだまりの里」を啓発していきたい意向もあるので、今後の取り組みに期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	早期に開設されており、入居者の出身地は多方面にわたっているが、個々の出身地を尊重し、家族の一員として、地域の中でその人らしく生活してほしいと考え理念に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有と実践にむけて、日々、ケアの中からその人らしく生活するために必要な事をミーティング、勉強会などで話し合う場を設けている。理念を朝会で唱和しており、言葉に出すことで心の気づきがあり、そのひらしさを受け入れることにつながっているようである。		
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	管理者や職員、利用者は日々の散歩(特に犬を連れて)や、地域の清掃活動で地域の人と交流しているが、事業所としては自己評価票提出時において、地域の一員として積極的な地域活動には至っていない。		12月の調査時において町内会に入会の手続きをとっており、これからは地域の行事などに参加していく予定である。地域の人々の認知症に対する理解度はあまり高いとは言えないようであるが、町内会や町の行事などに参加し、ホームの啓発に努めてほしい。送迎方法や、スペースの問題があるようであるが、幼稚園、保育所等との交流を図ってほしい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価することにより改めて自分達が出来ている点・改善すべき点を知り、改善できるように取り組んでいる。</p>		<p>今回の評価は管理者主体の評価が多く、職員全体の意見が少ないように思われる。管理者、職員全員で取り組んでほしい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的に行われており、行事、利用状況等を伝え、今後取り組んでいきたい事やホームに対する意見・要望を取り入れ、サービスの向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外でも町の福祉担当者と連絡を密に取り、運営の方針上の相談や課題解決に向けて考えを共有できるように連携体制をとっている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者・一部職員は外部研修等で学び、すでに入居者に成年後見制度を利用している人がおり、支援している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修等に参加し、得た知識を全職員に学んでもらう場を作っている。管理者、職員共に意識の向上が見られ、言葉による虐待が見過ごされないように注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族はグループホームを「施設」とっており、その違いを納得していただくのに時間がかかるようであるが、契約時には、利用者・家族にホームの方針や取り組みを十分説明し、納得した上で契約している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に利用者の状況を細かく報告している。遠方の方で面会の機会が少ない方には、電話で近況を報告しているが、家族の中にはパソコンによるメール報告でお願いしたというご家族もあり、対応が検討されている。</p>		<p>面会時や電話の報告の他に書面による近況報告や「ホームだより」発行等で文書化することにより、具体的な内容となることを期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時家族が意見を言いやすいように職員の方から働きかけたり、意見を記入する用紙を作成し、設置している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員は仕事に意欲を感じているようであり、職員の異動は少なく、顔なじみになっている。馴染みの関係を重視し、職員の異動は最小限にするように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要な研修は積極的に参加するようにしている。1年に1回は研修に参加する体制をとっている。自己負担でも参加したいという意欲のある職員も多い。又先輩が後輩の指導を良く行っているようである。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は同業者との交流や連携を通じて日々のサービス向上や職員育成につなげるための取り組みをしている。グループホーム間の勉強会、親睦会などがあり、情報交換など交流する機会を設けている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活歴を考慮し、本人や家族とコミュニケーションを図りながら支援している。馴染みの大きな家具等の持ち込みは多くは無いが小物は持ち込んでいる。趣味に合わせて書道用品、手芸用品、色鉛筆画などが多い。それらの作品を廊下に展示している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その人らしさを尊重し、ゆったりした時間をつくり、本人により添い、その言葉に耳を傾けるように取り組んでいる。利用者が職員のエプロンのボタンを付けてくれたり、職員が方言を利用者から学んだり、食後の手伝い等お互いに支えあっているように感じる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族が利用者本人の生活、行動を理解できないこともあり、認知症、精神疾患については、看護師から説明していただくなど、本人や家族とのコミュニケーションを通じて把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人の希望を考慮し、毎月、ケアカンファレンスで意見交換し生活に根ざし、本人がより良く暮らすためのケアのあり方を考慮し、介護計画の作成をしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その都度家族へ連絡し、状況の報告、相談を行い新たな計画を作成している。記録については生活のワンポイント、行動、表情がわかる記録に改善されている。		各ユニットにより入居者の状態が違っており、重度の入居者がいるユニットでは見直しが十分に出来ず更新時期になったことがあった。3ユニット協力して対応してほしい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	時間に追われることなくドライブ、買い物、などの行事を取り入れている。家族と一緒に出かけることもある。終末期は利用者と家族が共にホームで過ごせるように配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医を聴取しながら事業所の意向も加えての受診支援をしている。早期の3ユニットのホームなので遠くは軽米、二戸、八戸の入居者がいる。受診は家族が原則であるが医師に伝える文書作りもしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については十分に本人、家族へ説明し、話し合いの場を設けて方向性を協議している。入居時の重要事項説明にも重度化した場合の対応について、看取りに関する考え方を文書化し、説明、納得していただいているのは専任看護師の指導が大きいと思われる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関しては契約時に十分に確認し、生活の中でプライバシーが守られるような取り組みをしている。入居時の重要事項説明書に「個人情報同意書」の中で使用種類、掲示・配布場所に同意の有無を文書で確認している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の訴えを尊重し、一人ひとりの生活のリズムに合わせた生活支援をしている。散歩、買い物、入浴など一人ひとりの希望に添った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>持っている力に応じて下準備や配膳、片付け等職員と一緒に会話しながら行っている。食事時は、職員の介助、又は一緒に会話しながら食事をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>24時間対応の大浴場があり、車椅子対応の浴槽や家庭用風呂もある。入浴日は決められているが、希望時はいつでも入浴できるようにしている。浴槽や湯については専門業者による検査を定期的に行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>様子を伺いながら、本人が楽しみ事や気晴らしが出来る場面を増やせるよう努力している。犬、猫、鯉とのかかわりは利用者の大きな心のよりどころになっているようである。その他、習字、文化刺繍、トランプ等一人ひとりの生活力に応じて支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物や散歩等は本人の希望により行われている。犬を連れての散歩、敬老会、お寺の講和を聞くためにも出かけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ベットの高さの工夫や転落防止用マットを準備するなど本人の能力を制限しない自由な生活を提供している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>ホーム周辺に川や崖があり、鍵をかけているが、開放する時間を設けている。利用者が出る場合は必ず、スタッフが見守り出来る体制をとっている。施錠については家族に説明した上で対応している。</p>		<p>現状の立地条件(ホームの側の川、崖等)を考えると施錠は必要と思われる。正面玄関にアラームを設置し、外へ出たことがわかる対策をしたいとのことだったので、今後の取り組みに期待したい。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時に適切な避難誘導が行えるよう、職員・利用者が定期的に訓練しているが、地域との協力体制が十分でない。</p>		<p>運営推進会議や町内会入会を機に地域の人々との協力体制が確立できるように期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>同系列の施設に勤務している栄養士、ホームの看護師との協力で身体状況に応じて食事摂取量・水分摂取量をチェックしている。又バランスガイドを中心に摂取量などを検討している。食品の好みもある程度希望を取り入れている。(例:蕎麦又はうどん等)</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>インフルエンザ予防接種は行っている。その他は看護師の指示のもとで実施している。玄関に消毒用アルコールをおいてあり、1ケア、1手洗い、うがい等実施している。24時間風呂のレジオネラ菌に対しては、業者による対策がとられている。</p>		<p>急性期の医療機関との連携、不測の事態についての了解事項のマニュアルはあるが感染症予防のマニュアルがあればさらに良いのではないかと。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>春夏秋冬の季節感を楽しんでもらえるように空間への配慮を心がけている。また安全を重視した心地良い環境の工夫に努めている。又音、光、排泄臭にも不快にならないように配慮している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今まで使用していて家具や思い出の品は持ち込んでいただくようにしている。家具や生活用品の持ち込みは少ないが、時計、腕時計、趣味の道具などの持込が多い。</p>		

 は、重点項目。